

〈省エネ対策費用を助成します！〉

集合住宅及び事業所等におけるLED照明機器切替助成

集合住宅の共用部や事業所等において、既設の照明機器から省エネルギー効果の高いLED照明機器への切替工事を行う経費の一部を助成します。




- 対象者**
- 区内に所有する集合住宅の共用部分に対象機器を設置する集合住宅の所有者、管理組合等
 - 区内に所有する事業所に対象機器を設置する区内中小企業者（法人、個人事業主）等（ただし、代表者が区内に居住している場合に限る）

助成内容 LED照明機器、工事に必要な関連部材の購入費、工事費の合計額（税抜）の50%（上限金額30万円）

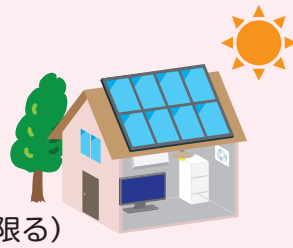
申請期限 令和5年2月20日（月）（要事前申請）

※申請が予算枠に達した時点で終了

手続きの流れ、対象機器等の詳細は、区ホームページ  をご覧ください。

再生可能エネルギー等の導入及び省エネルギー対策助成

太陽光発電システムや蓄電池を導入した方、窓断熱改修や高日射反射率塗装を行う方に対して経費の一部を助成します。令和4年度から、高日射反射率塗装は屋根に加えて外壁も対象になりました。




- 対象者**
- 区内に所有する建物に対象機器を設置する区民、管理組合等
 - 区内に所有する事業所に対象機器を設置する区内中小企業者（法人、個人事業主）等（ただし、代表者が区内に居住している場合に限る）

助成内容 対象機器の性能や塗料塗布面積に応じて、導入経費の一部を助成

申請期限 令和5年2月27日（月）（要事前申請）

※申請が予算枠に達した時点で終了

手続きの流れ、助成額等の詳細は、区ホームページ  をご覧ください。

☎ 環境課環境活動推進係

事業系有料ごみ処理券の旧料金券についてのお知らせ 事業者の皆さまへ

事業系有料ごみ処理券の旧料金券（平成25年10月改定）は、現在使用することができません。差額交換又は還付が可能な期間は **令和4年10月31日** までです。期限経過後は、差額交換又は還付の手続きができなくなります。旧料金券をお持ちの場合、早めの手続きをお願いします。



「平成25年10月改定」と記載がある券は旧料金の券です。（現在使用不可）

☎ ごみ減量対策課管理係

お願い 台風などの荒天時におけるごみ・資源の出し方

台風接近などの荒天時であってもごみ・資源等の収集は原則行います。ただし、収集時間が通常よりも大幅に乱れることがありますので、あらかじめご了承ください。

やむを得ず収集を休止する場合は、区ホームページやスマートフォン用アプリ「なみすけのごみ出し達人」等でお知らせします。

また、安全にごみ・資源を出せない場合は、なるべく次回の収集日にお出しください。 ☎ 杉並清掃事務所・方南支所



☆この「清掃情報紙ごみバックン」を読み終わって処分する時は、古紙（雑がみ）としてお出しください。



ごみ減量で地球を守ろう！

東京港内の新海面処分場は、23区最後の埋立処分場です。長く使うためにも、地球の温暖化を防ぐためにも、一人ひとりができることから始めてみませんか。

今号の・10月は食品ロス削減月間です。
主な記事・プラスチックを知ろう！ Vol.1

発行日 令和4年9月5日
編集・発行 杉並区環境部ごみ減量対策課・杉並清掃事務所・方南支所

年4回（6・9・12・3月）各5日発行



10月は食品ロス削減月間です。

ごみ減量対策課では、10月3日（月）から8日（土）まで、農福連携農園（愛称：すぎのご農園）にて、「食品ロス削減に関するパネル展示」を行います。かつての杉並における農の風景を見ながら「食品ロス」について考えてみませんか？



農福連携農園すぎのご農園

※パネル展示（見学自由）：月曜日～金曜日 午後2時～4時 土曜日 午前10時～午後3時

☎ ごみ減量対策課管理係

すぎのご農園とは

約3200㎡の農園内に、福祉施設等に提供する農産物を栽培するための区画や、障害者施設等の利用者が農業を体験できる区画などを設けています。

また、江戸時代中期に建てたとされる、かつて農家だった建物の梁や柱を利用して再現した古民家を管理棟として活用しています。

毎月第二土曜日には杉並産農産物等の即売会「すぎのごマルシェ」も開催しています。



〈住所〉杉並区井草3丁目19番23号

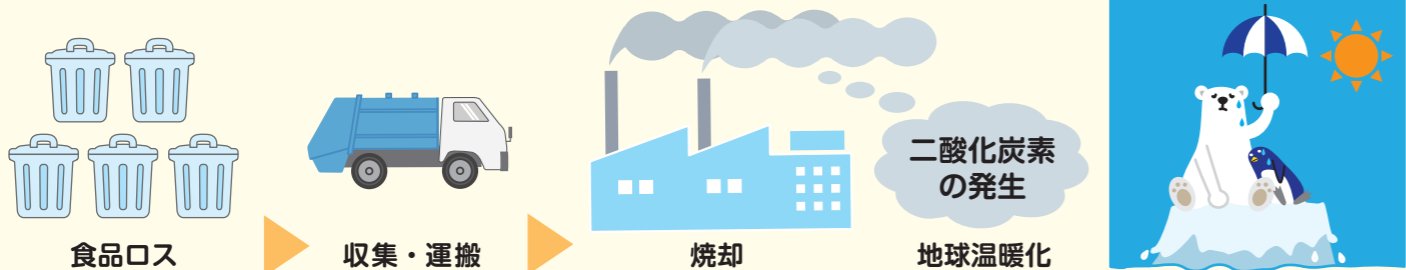
*すぎのご農園についての問い合わせ：杉並区産業振興センター 都市農業係 ☎ 03-5347-9136
すぎのご農園 管理事務所 ☎ 03-5303-9835

【問い合わせ先】 ●ごみ減量対策課 阿佐谷南 1-15-1（杉並区役所）電話 03-3312-2111（代表） → 次頁へ

食品ロスって何?

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。日本では、年間522万トンが食品ロスとなっており、国民1人あたり約113g、お茶碗約1杯分の食料が毎日捨てられていることとなります。(農林水産省:令和2年度推計値)

ごみとして排出された食品ロスは、運搬や廃棄に多くの費用やエネルギー資源を必要とするばかりでなく、燃やすことで発生する二酸化炭素は、地球温暖化の原因となっています。環境のためにも、「もったいない」を心がけ、私たちの身近なところから食品ロスを減らしていきましょう。



食品ロスを減らすための3つのコツ

食品ロスの約半数は、家庭から排出されています。食品ロスは、ちょっとした気遣いで減らすことができます。3つの「**ない**」を合言葉に始めてみませんか?

1 **
買すぎない

買い物に行く前に冷蔵庫をチェック!

2 **
作りすぎない

食べきれる量だけ作りましょう!

3 **
食べのこさない

食べきれない量だけとりましょう!

シリコンバッグを使った、食品ロス削減ポイントの紹介!!

職員のFさんとIさんに簡単にできる食品ロスを出さない方法を聞いてみました。ポイントは、必要な量だけ購入。余った食品は冷凍保存。残った食材を簡単に調理し今日のおかずの一品に!

お二人が使っているのは、洗って繰り返し使え、冷凍保存から調理まで幅広く活用できる「シリコンバッグ」。みなさんもシリコンバッグなどを活用し、食品ロスを出さない工夫をしてみませんか。

お肉屋さんにて

Fさん

必要な量だけ購入!

味付けをし、そのままレンジで加熱できます!

もし余ったら、そのまま冷蔵・冷凍保存!

*** 残ったじゃがいもで作る簡単ポテトサラダ ***

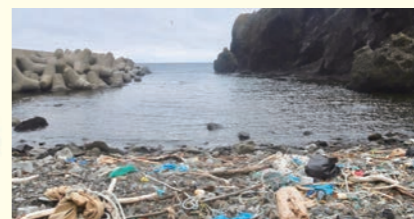
Iさん

①じゃがいもをバッグに入れる ②レンジで加熱する

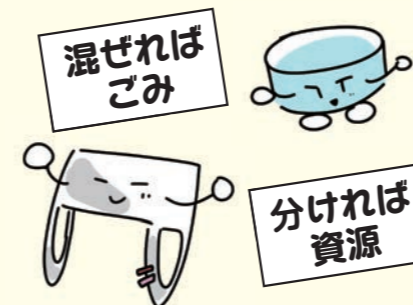
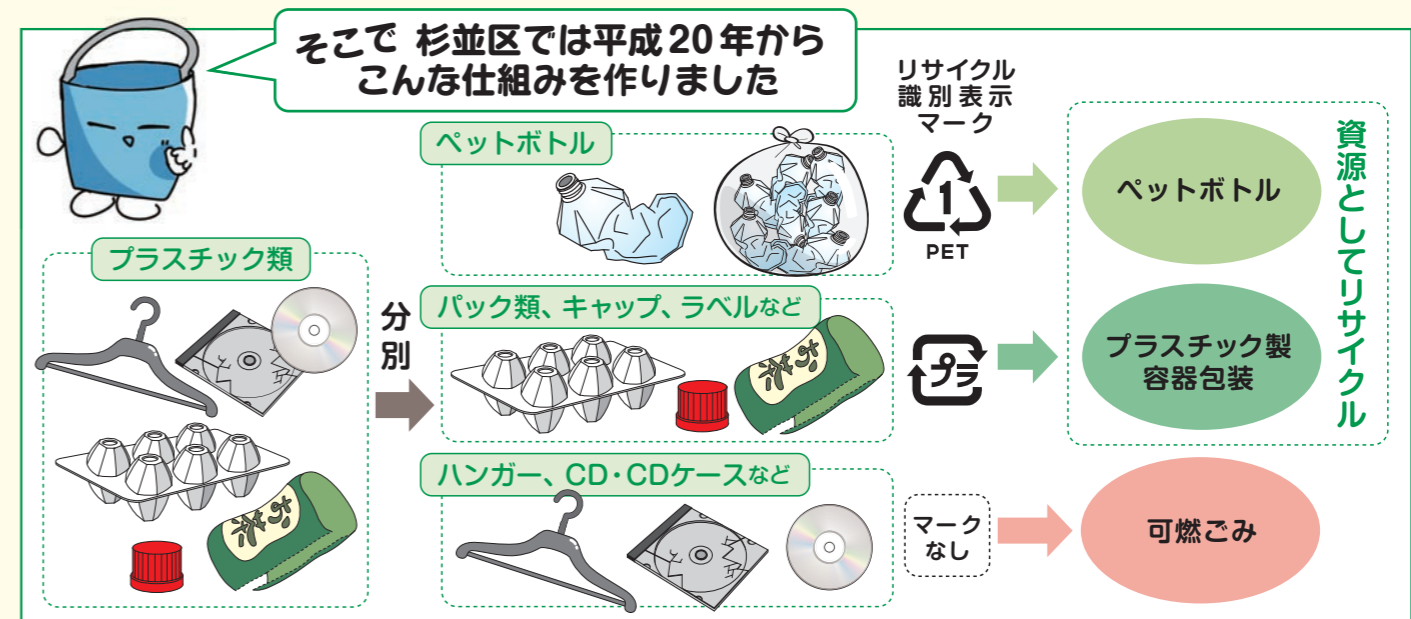
③じゃがいもを潰す ④味を調える ⑤出来上がり!

プラスチックを知ろう! Vol.1

プラスチックはごみ? 資源?



人々の生活が豊かになるにつれ、電化製品、おもちゃや日用品、レジ袋や食品トレイなど、私たちの身の回りは多くのプラスチックであふれる状態に。プラスチックは加工がしやすく、安価なため大量に作られ、大量に捨てられるようになりました。ごみとして捨てられたプラスチックは、以前はそのまま最終処分場に埋め立てられ、限りある処分場を圧迫していました。



事業者は製品に「リサイクル識別表示マーク」を表示し、消費者にわかりやすい工夫を行い、これまで不燃ごみとして埋立処分されていたプラスチック類はリサイクルを推進していくことが基本(ルール)となりました。

リサイクルマークを理解して正しく分別し、私たち一人ひとりがごみを減らしていくという意識を持つことから始めてみませんか。

お使いですか? スマートフォン向けアプリ「なみすけのごみ出し達人」(無料)

英語、中国語、韓国・朝鮮語、ネパール語、ベトナム語、フィリピン語でも調べることができます。

「月2回の不燃ごみの日」カレンダーを見て、明日は第2週目か3週目が迷ってしまった、うっかり出し忘れてしまったということは、ありませんか。そんな時は、ごみ出しアプリ「なみすけのごみ出し達人」のごみの日カレンダー機能が便利です。普段ご利用のごみ集積所を登録しておくと、トップ画面に今日(時間帯により)・明日の収集予定が表示されます。この機会に是非、ご利用ください。

累計ダウンロード数は63,000件を超えました!! (令和4年5月末現在)



ダウンロードはこちら

